

「札幌市下水道改築基本方針」の改定について

1. 改築事業の増加

- 札幌市の下水道施設は、昭和 50 年代に集中的に整備しており、**老朽化が進行**。
- そのため近年、**改築事業費は年々増加**し、下水道事業**全体に占める割合が増加**。

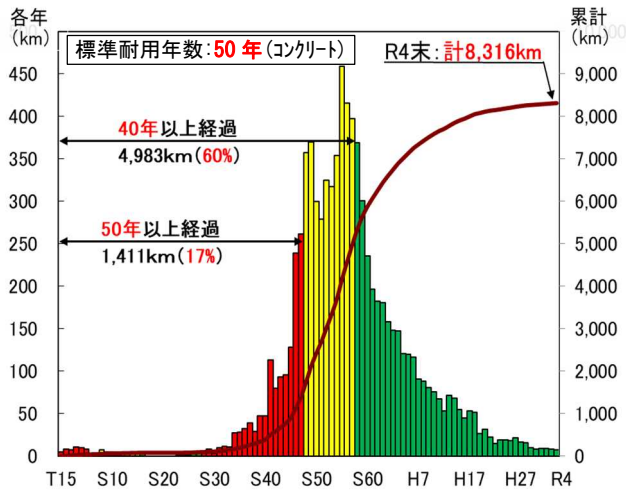


図 1 管路の整備状況

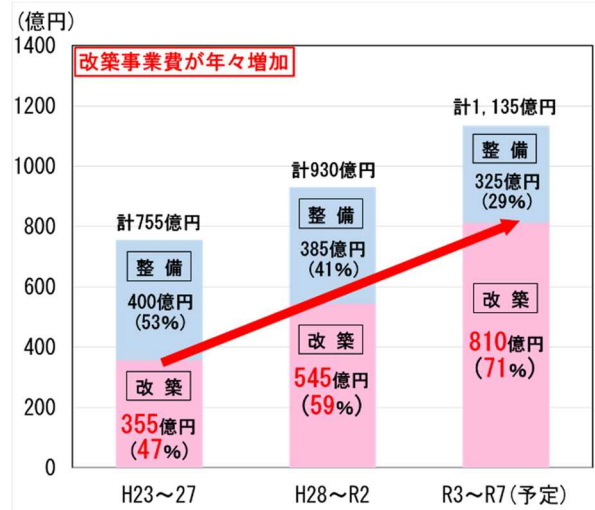



図 2 下水道事業費の推移

2. 改築事業に係る方針

- 改築事業の重要性が増しているため、**2つの方針**に基づき、計画的に改築を実施。


札幌市下水道改築基本方針 (H27.3)

- 目標耐用年数等を設定して、**延命化**
- 対象施設
 - ・ 管路 (全 8,300km)
 - ・ 設備 (水再生プラザ等全 30 施設)



札幌市下水道処理施設再構築方針 (R4.3)

- 将来人口を見据えて、**施設規模の適正化**
- 対象施設
 - ・ 土木・建築構造物 (水再生プラザ等全 30 施設)





「札幌市下水道改築基本方針」を令和 5 年度に改定

改定 1 : 約 10 年間の点検調査で**施設の劣化データ**が蓄積したため、**事業費等を精査**

改定 2 : 「札幌市下水道処理施設再構築方針」を策定したため、**方針を一本化**

3. 今年度のスケジュール (予定)

- ・ 令和 5 (2023) 年 10 月頃 : 改築基本方針 (原案) のご説明
- ・ 令和 6 (2024) 年 2 月頃 : 改築基本方針 (最終案) のご説明
- ・ 令和 6 (2024) 年 3 月 : 札幌市下水道改築基本方針の改定・公表